

正しくお使いいただくために、この説明書をよくお読みください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

## 安全上の注意 (必ずお守りください)

この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく使用してください。  
使用者に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

- |   |   |
|---|---|
| <b>警告</b> この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 | <b>注意</b> この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合または物的損害が発生が想定される」内容です。 |
|---|---|

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

- |                                    |                                       |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| <b>禁止</b> この図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。 | <b>強制</b> この図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 |
|------------------------------------|---------------------------------------|

## ご使用に関する警告

- 製品の隙間に手や足を入れないでください。ケガの原因となります。
- 乳幼児を寝かせたり座らせないでください。窒息や床への落下によるケガの原因となります。
- デイベッドに人が乗った状態で持ち上げたり引きずったりしないでください。破損の原因となります。
- デイベッドの脚端部(脚端、打ち込みキャップなど)はご使用していくとすり減って、床をキズつける場合があります。必ず定期的に点検し、早めに交換してください。
- 禁止 デイベッドの上での喫煙はお止めください。火災の原因になるおそれがあります。
- 禁止 デイベッドの近くで暖房器具を使用しないでください。火災の原因になるおそれがあります。
- 電源コードをデイベッドで踏まないようにご注意ください。コードの破損、火災の原因になります。
- 禁止 デイベッドの上で飛び跳ねたり、飛び降りたりしないでください。ケガや破損の原因となります。
- 座面に立ったり、背もたれ、肘掛などに座らないでください。転倒の危険があります。
- 破損、変形した状態では使用しないでください。

## ご使用に関する注意

- 部屋の換気やふとんを干すなど、製品が湿気を帯びないようにご注意ください。湿気によるカビの発生やゆがみなどの原因となります。
- 規定の使用人員以上でのご使用は避けてください。破損してケガをするおそれがあります。※「製品仕様」に使用人員の記載があります。
- 禁止 直射日光や照明、冷暖房器具の熱や風を商品に直接あてないでください。反りやゆがみ、割れ、変色などの原因となりケガをするおそれがあります。
- 本来の用途以外では使用しないでください。思わぬ事故やケガの原因となります。
- 禁止 デイベッド周辺には家具などの転倒する可能性のあるものは置かないでください。地震時などに転倒し、ケガをする原因となります。
- 屋外では使用しないでください。

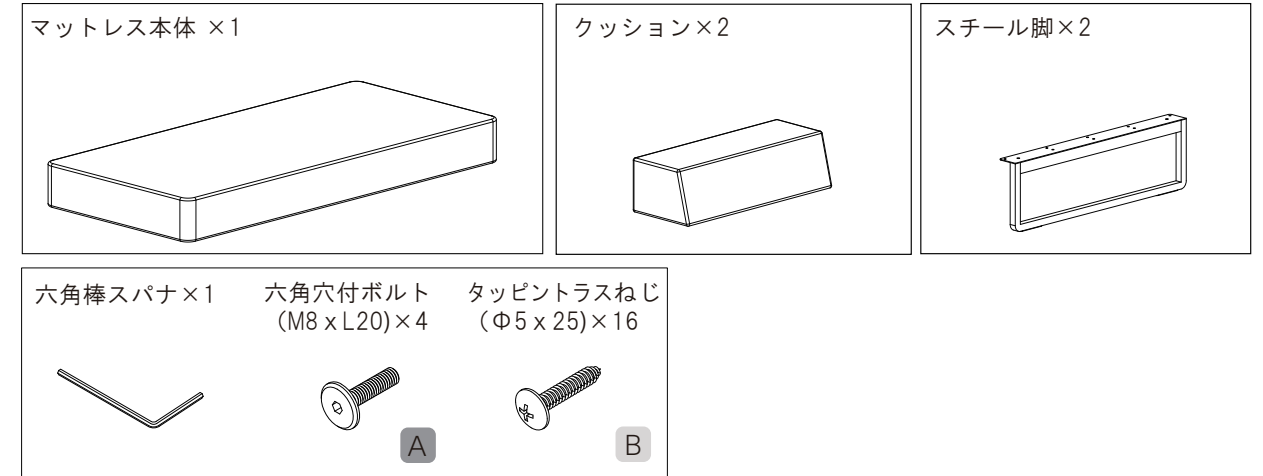
- ベットの裏側も空気が流れるように壁から少し離したり、部屋の換気をしてください。夏場や高温多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害するおそれがあります。
- 脚は緩みやグラつきがないか定期的に点検してください。特に木脚は緩みはじめたら、しっかり締め直してください。そのまま使用するとケガや破損のおそれがあります。
- 床面がフローリングや畳などの場合は、敷物などを敷いて使用してください。床面のキズ防止になります。
- 床面がクッションフロアの場合、敷物などを敷いて使用してください。脚部(木部の場合)塗料と床面との反応による汚れ防止になります。

## その他の注意

- 高温や乾燥した場所での長期間の設置はしないでください。製品の反りやゆがみ、割れなどが生じる原因となります。
- 禁止 組み立ては必ず2人以上で行ってください。1人で作業されると、転倒、破損によるケガの原因となります。
- 平らで安定した場所に設置してください。不安定な場所での使用は、製品がゆがんだり、破損の原因となるおそれがあります。
- 暖房器具を使用する場合は室内湿度を適正に保つようして下さい。冬場などの暖房器具による室内の極端な乾燥は天然木材の割れや反りの原因となります。
- ご使用の際は、ボックスシート(別売)、ベッドパッドなどと併用してご使用ください。

## QBD-0001-L デイベッド ループ

### ■ パーツリスト

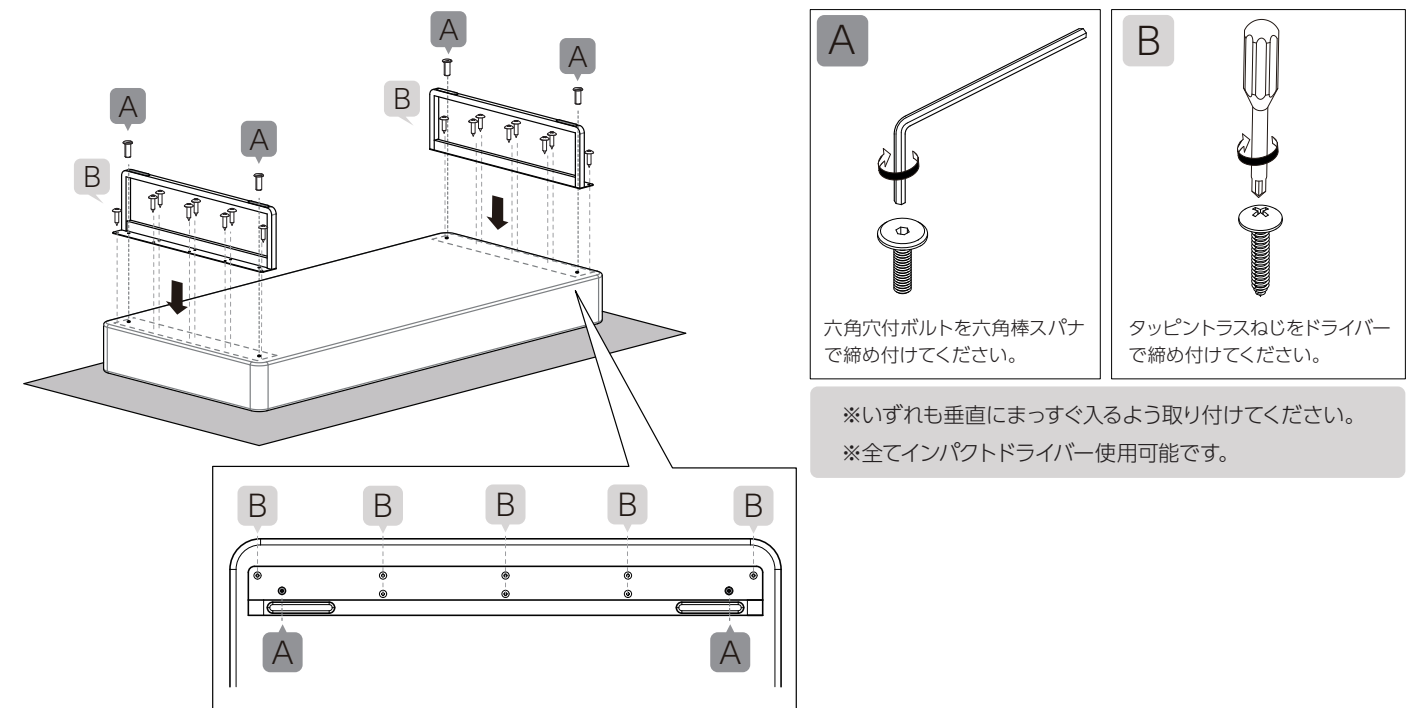


### ■ 組み立て方法

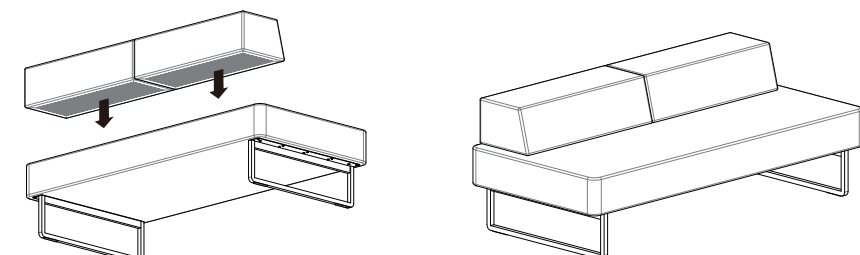
#### 注意

- 組み立ては必ず2人以上で行ってください。
- 1人では商品破損や商品落下などによりケガをする原因となります。
- 組み立て、設置の際は、床や既存の家具がキズつかないようにご注意ください。

- はじめに、組み立てる場所にキズがつかないか確認してください。床を保護するために、マットレスの梱包材を敷物として利用してください。(組み立て後の移動を避けるため、なるべく設置場所付近で行ってください。) 図のように本体を裏返して、**A→B**の順で固定してください。



- 脚を全て取り付けたら脚を下にして、クッションを載せて完成です。



### カバー（側生地）の取扱いについて

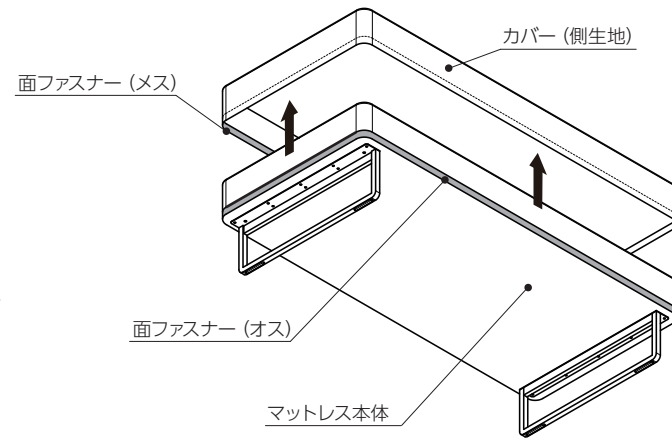


- ・取扱いの際は、必ず2人以上で行なってください。
- ・床や壁への接触によるキズや破損にご注意ください。

#### ■カバー（側生地）の取り外し方

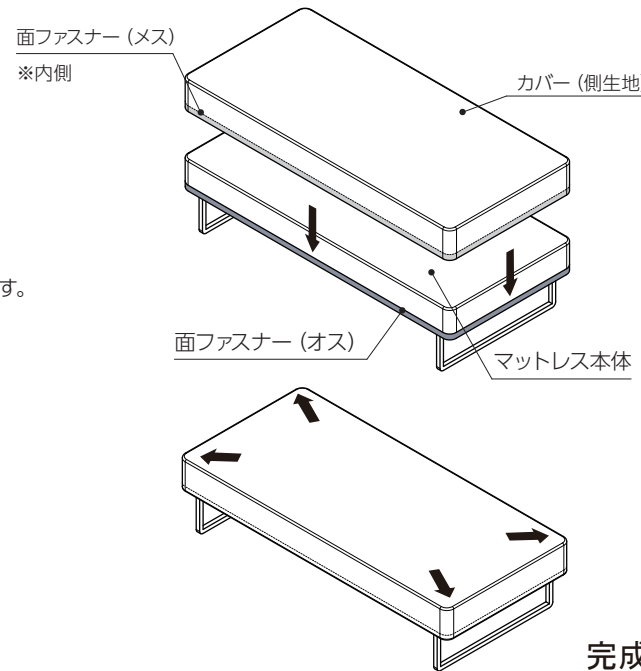
- 1 側面内側の面ファスナーで貼り合わせている部分を外します。
- 2 ベッド本体からカバーを外します。

※図の脚部はループですがループ背付き、ウッドも同様です。



#### ■カバー（側生地）の取り付け方

- 1 取付けの際は「取り外し方」の逆手順を行ないます。
- 2 カバーの裾を引っ張ってカバー内側の面ファスナー（メス）を、マットレス本体側面の面ファスナー（オス）に合わせて貼り合わせます。



完成

※図の脚部はループですがループ背付き、ウッドも同様です。

#### ■洗濯方法



- ・洗濯機の破損や事故を防ぐため「洗濯機の容量、洗い方」については洗濯機の取扱説明書に従ってください。
- ・また、家庭の洗濯機で洗えない場合はクリーニング専門店にご相談ください。
- ・洗濯用ネットを必ずご使用ください。

- ・お洗濯可能な洗濯機の容量の目安：ベッドカバー 8kg以上
- ・洗濯用中性洗剤をご使用下さい。漂白成分が入っている洗剤を使うと色落ちの原因となりますので使用しないでください。
- ・蛍光増白剤の入っていない洗剤を溶かしたぬるま湯（30℃以下）につけ込み、中の空気を十分に押し出してから、弱い水流（ソフトなど）で洗ってください。
- ・すすぎを十分に行なってください。
- ・脱水後、形を整えてから風通しの良い日陰で吊り下げて両面を乾燥させてください。なお、タンブラー乾燥はお避けください。縮みの原因となります。絞って脱水すると生地傷みや色褪せの原因となりますのでおやめください。
- ・天日干しすると生地傷みや色褪せの原因となりますのでおやめください。
- ・定期的に風通しの良い日陰で、吊り下げて干してください。

### 移動について

#### 組み立てた状態での移動

- ・移動する際は床面を引きずらず、必ず本体フレームの下に両手を掛けて大人2人以上で同時に持ち上げて運んでください。ケガや破損、床面へのキズの原因となります。

#### 引越しなどでの移動

- ・引越し等で移動させる際は脚を外してから運んでください。ケガの原因や商品が破損する原因となります。

#### 廃棄について

- ・廃棄の際は、居住地域自治体のルールに従い処分してください。

### お手入れについて

#### マットレスおよび張地について

- ・マットレスを長持ちさせるには、3～4か月に一度、頭部と脚部を定期的にローテーションさせてください。

※デイベドループ背付タイプはローテーションできません。

（マットレスは裏表反転させての使用はできませんのでご注意ください。）

- ・張地の汚れがひどい場合は、水に浸して固く絞った布か、水で薄めた中性洗剤（5～10%程度）に浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で仕上げてください。
- ・ベッドとしてご使用の際は、カバー（側生地）上にボックスシーツなどカバーをかけてご使用ください。
- ・カバー（側生地）の洗濯については、洗濯方法もしくは、縫い付けの洗濯表示ラベルに従い正しく取扱ってください。
- ・カバー（側生地）の取り付け方、取り外し方については、カバーのご使用方法をご確認ください。

#### 脚部のお手入れ

- ・通常のお手入れは定期的に乾燥した柔らかい布で軽く拭いてください。（必要以上に強くこするとキズがつく場合があります。）
- ・汚れがひどい場合は、水に浸して固く絞った布か、水で薄めた中性洗剤（5～10%程度）に浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で仕上げてください。
- ・シンナーなどの有機溶剤を含んだ布で拭かないでください。変色や変形の原因となります。

#### 保守・点検

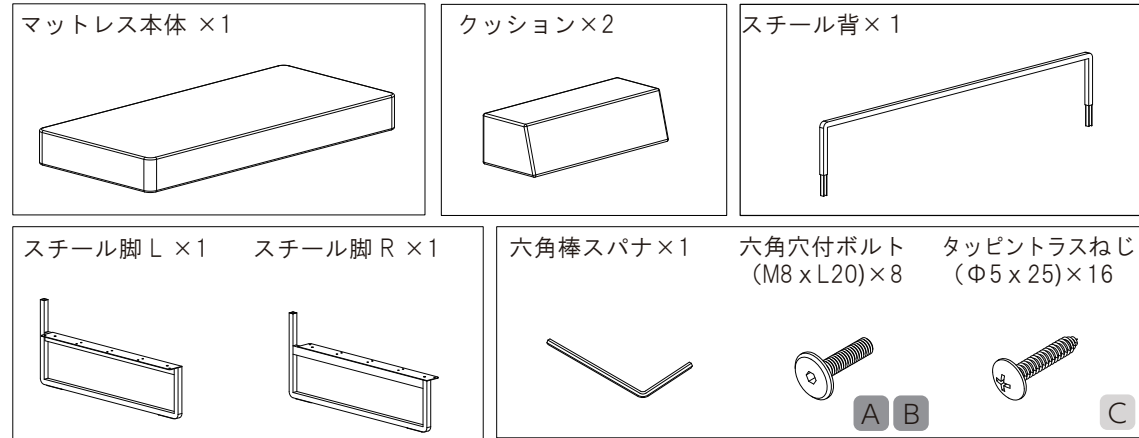
- ・脚は緩みやぐらつきがないか定期的に点検し、緩みははじめたらしっかり締め直してください。緩んだまま使用するとケガや脚・本体の破損、床面のキズの原因となります。また、ガタツキや異常音の発生の原因となります。
- ・害虫を発見した場合は、直ちに害虫駆除の専門業者に相談するなどして、殺虫や防虫処理をしてください。放置すると害虫が拡大するおそれがあります。

### 製品仕様

品番	QBD-0001-SS-L	QBD-0001-S-L	QBD-0001-SS-B	QBD-0001-S-B	QBD-0002-SS	QBD-0002-S
品名	CSデイベッド ループSS	CSデイベッド ループS	CSデイベッド ループ背付きSS	CSデイベッド ループ背付きS	CSデイベッド ウッドSS	CSデイベッド ウッドS
製品寸法	W1800×D800×H690 (SH450)mm	W1950×D900×H690 (SH450)mm	W1800×D840×H690 (SH450)mm	W1950×D940×H690 (SH450)mm	W1800×D800×H690 (SH450)mm	W1950×D900×H690 (SH450)mm
製品重量	約40kg	約45kg	約50kg	約55kg	約35kg	約40kg
用途	ベッド(1人用)/ ソファ(1～2人用)	ベッド(1人用)/ ソファ(1～3人用)	ベッド(1人用)/ ソファ(1～2人用)	ベッド(1人用)/ ソファ(1～3人用)	ベッド(1人用)/ ソファ(1～2人用)	ベッド(1人用)/ ソファ(1～3人用)
材料	カバー : ポリエステル マットレス : ポケットコイル / スチール クッション / ウレタン、フェルト フレーム / 合板 クッション : ウレタン 脚部 : スチール 粉体塗装またはサテンメッキ	カバー : ポリエステル マットレス : ポケットコイル / スチール クッション / ウレタン、フェルト フレーム / 合板 クッション : ウレタン 脚部 : スチール 粉体塗装またはサテンメッキ	カバー : ポリエステル マットレス : ポケットコイル / スチール クッション / ウレタン、フェルト フレーム / 合板 クッション : ウレタン 脚部 : スチール 粉体塗装またはサテンメッキ	カバー : ポリエステル マットレス : ポケットコイル / スチール クッション / ウレタン、フェルト フレーム / 合板 クッション : ウレタン 脚部 : オーク(ウレタン塗装)	カバー : ポリエステル マットレス : ポケットコイル / スチール クッション / ウレタン、フェルト フレーム / 合板 クッション : ウレタン 脚部 : オーク(ウレタン塗装)	カバー : ポリエステル マットレス : ポケットコイル / スチール クッション / ウレタン、フェルト フレーム / 合板 クッション : ウレタン 脚部 : オーク(ウレタン塗装)
製造国	日本		日本		日本/中国(脚部)	

### QBD-0001-B デイベッド ループ背付き

#### ■パーツリスト

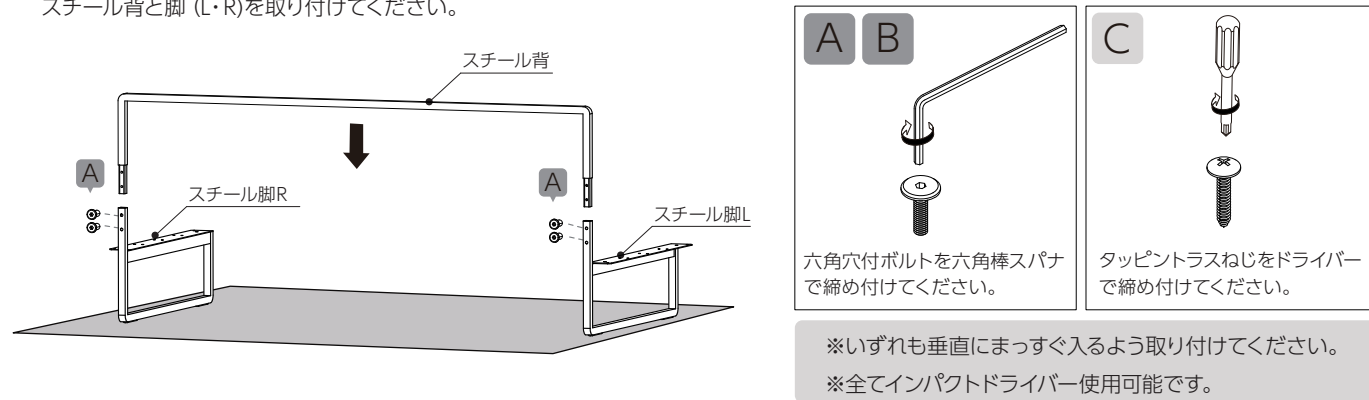


#### ■組み立て方法

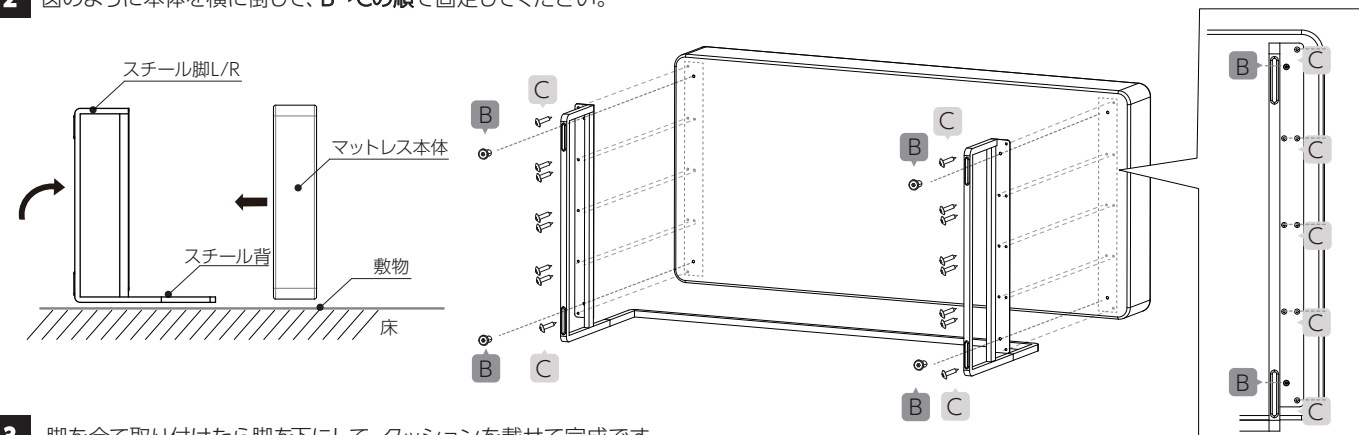


- ・組み立ては必ず2人以上で行ってください。
- ・1人では商品破損や商品落下などによりケガをする原因となります。
- ・組み立て、設置の際は、床や既存の家具がキズつかないようにご注意ください。

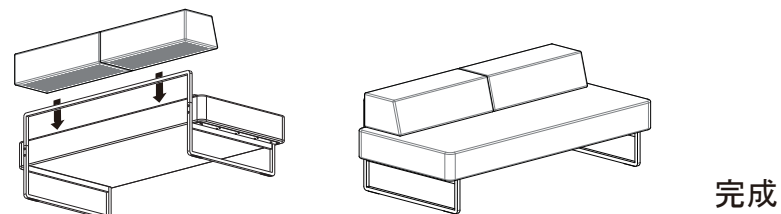
- 1** はじめに、組み立てる場所にキズがつかないか確認してください。  
床を保護するために、マットレスの梱包材を敷物として利用してください。(組み立て後の移動を避けるため、なるべく設置場所付近で行ってください。)  
スチール背と脚 (L・R) を取り付けてください。



- 2** 図のように本体を横に倒して、B→Cの順で固定してください。

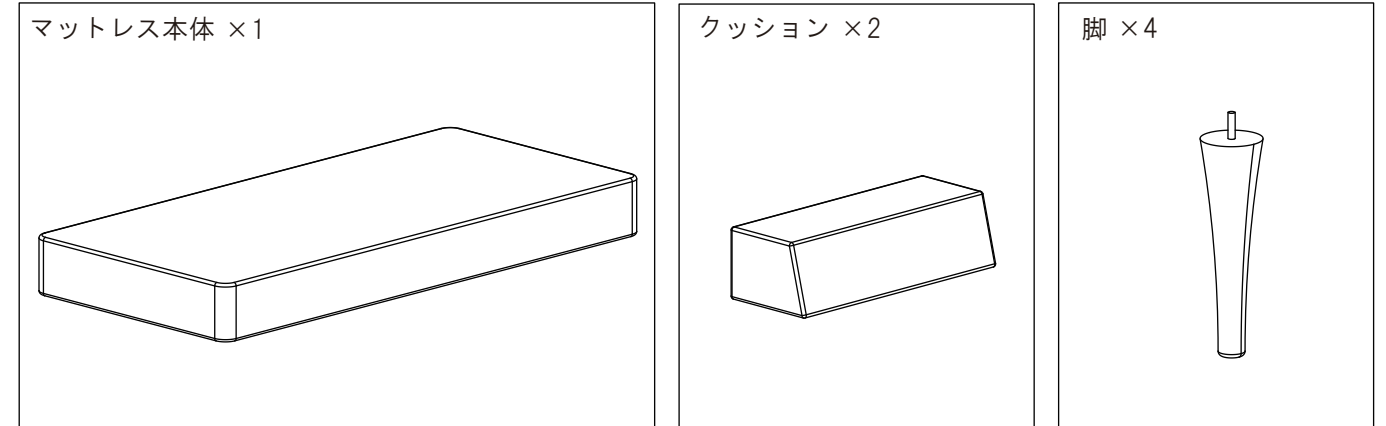


- 3** 脚を全て取り付けたら脚を下にして、クッションを載せて完成です。



### QBD-0002 デイベッド ウッド

#### ■パーツリスト

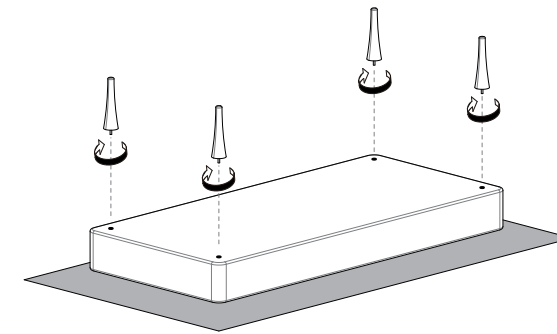


#### ■組み立て方法



- ・組み立ては必ず2人以上で行ってください。
- ・1人では商品破損や商品落下などによりケガをする原因となります。
- ・組み立て、設置の際は、床や既存の家具がキズつかないようにご注意ください。

- 1** はじめに、組み立てる場所にキズがつかないか確認してください。  
床を保護するために、マットレスの梱包材を敷物として利用してください。  
(組み立て後の移動を避けるため、なるべく設置場所付近で行ってください。)  
図のように本体を裏返して、両手で脚を支えながら、脚取り付け穴に垂直にまっすぐ入るよう回して取り付けてください。



- 2** 脚を全て取り付けたら脚を下にして、クッションを載せて完成です。



- ・脚部を支点に起こさないでください。破損の原因となります。

